上島町立学校統合準備委員会　第３回通学部会　協議記録

１　開催日時　　令和８年９月 10 日（木）19:00～20:00

２　開催場所　　生名地域交流センター大ホール（立石港務所２階）

３　参 加 者　　髙見　恵美、村上　教美、鍋島　理恵、友近　将道、宮本　直樹
大岡　賢弘、松本　美香、松本　賢生、森賀　未有、金城　雄太
西坂　匡弘、田中　勝也、國延　典子、田畑　萌、山本　勝幸
井出　和宏、曽我部　芳昭、中野　美幸

４　協議内容記録

⑴　通学バス運行シミュレーションの報告

○　シミュレーションの概要

・　８月 26 日(水)の 14 時頃、生名地区・岩城地区を回った。各バス停の間の時間の計測と、各バス停の安全確認を行った。

【生名地区】

・　西浦集会場付近にも停留所を希望していたが、安全上厳しいと判断し、海沿いの少し広い道を迂回していく５か所の停留場を希望することとした。１～４年生の保護者、保育所の年長・年中の保護者にも伝え、人数や乗降場所についても確認をしている。

【岩城地区】

・　岩城地区は、岩城橋を基準に、西回りと東回りに回った。
・　概ね時間どおりで、少し早めで運行可能ということが確認された。
・　停留所は、何か所か問題がありそうなところが散見された。そこで乗降する児童・生徒の保護者と相談の上、位置を決めていきたい。

○　シミュレーション後の意見・感想等について

・　看板、ベンチ、旋回場所の表示、バスへのカメラ・ブザーの設置等の施設は行政との相談・要望になる。
→　カメラ・ブザーの国土交通省のガイドラインについては、幼稚園、保育所は義務だが、上島町の方針としては設置する方向でいる。
・　児童・生徒のシミュレーションや道路を横断しなくても良い場所に止まることなど、スクールバスの導入が決まってから再度話し合う。
・　シミュレーションの運転手の意見はいただいていない。

⑵　通学時間帯の町有バス・デマンド交通の運行について

○　公営事業課との連携

・　事務局で公営事業課と協議している。朝の便に児童・生徒が乗車することについては問題なしとの回答は得ている。

・　バス停でどのくらいの児童・生徒が乗車するのか、乗車する時刻など通学部会で固まったら、さらに具体的な協議ができる。
・　児童・生徒の登校時間に合わせての運行は、バスの往復時刻もあるので難しいところもあるが、弓削港で止まっているバスを中学校ぐらいまで延伸することは可能であるというところまでは検討してくれている。

⑶　バス運行に係る日課表について

○　始業時刻について
・　始業時刻が遅くなると、出発時刻が遅くなるので、小学校も８時や８時５分にできないか。中学校は８時 10 分で良い。

○　終業時刻について
・　小学校は 45 分授業、中学校は 50 分授業が目安なので、終了の時刻に誤差が出るため、終業時刻を合わせるのは難しい。
・　小学校の社会体育のことを考えると、終業時刻が遅くなると、今までとおりの練習ができなくなる。

○　下校の際のバスの時刻について
・　小学校低学年は 14 時 30 分頃、高学年は 15 時 30 分頃、中学生は 16 時頃、部活動終了頃となる案が示されたが決定はしなかった。

→　小学校の課外活動・社会体育、中学校の部活動、臨時便の必要性を踏まえ、学校経営部会に再度相談する。

５　その他

○　準備委員会で部会長が報告した際、部会員が質問するのは控えてほしい。部会長が説明した内容に補足説明するのは良い。

○　エビデンスと費用対効果がどうなのかも合わせて考えた上で提案してほしい。

○　準備委員会には、たくさんの部会があるので、事前に資料を配布すると混乱する可能性がある。部会が開かれた際に次回の案内と次回の検討事項の資料を配布させてもらう。そして、次回までに意見を持ってきてもらうようにする。

○　通学部会を１か月に１回、第２火曜日に入れる予定。次回は 10 月 13 日(火)19:00 からを予定。場所は未定。

【次回の検討事項】
・　バスの乗車システムについて【ＩＣＴを利用する方法（ＱＲコードで管理）と、アナログ（名簿で確認）による方法】
・　補助員の在り方
・　災害時のバックアップ体制